

WEEKLY SIGNAL

平成27年6月12日(金) 1278号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想					
	6/15 (月)	6/16 (火)	6/17 (水)	6/18 (木)	6/19 (金)
無担保O/N	0.030% ~ 0.125%				
銀行券	+ 600	ト ン	ト ン	△ 2,000	△ 2,000
財政他	+ 79,200	ト ン	+ 4,000	+ 1,000	+ 1,000
資金需給	余 79,800	ト ン	余 4,000	不 1,000	不 1,000
主な要因	年金定時払い 国庫短期証券発行・償還(3M) 国債発行・償還(2年)			交付税特会借入・償還	
オペ期日	CP等買入 △ 400 社債等買入 △ 100 国債補充供給 + 200				
オベスタート	ETF買入 + 300	国債買入 + 11,600 短国買入 + 10,000 社債等買入 + 1,100			
(日本)	月例経済報告(6月)	業態別の日銀当座預金残高(5月)	貿易収支(5月)	日銀金融政策決定会合(1日目) 対外対内証券売買(前週分)	日銀金融政策決定会合(2日目) 黒田日銀総裁記者会見 中曽日銀副総裁、 全国信用金庫大会で講演
(海外)	米 NY連銀製造業景況指数(6月) 欧 ドラギ ECB総裁、 欧州議会委員会で公聴会	米 住宅着工件数(5月) 米 FOMC(1日目)	米 FOMC(2日目) 米 イエレンFRB議長記者会見 米 MBA住宅ローン申請指数(前週分) 欧 ユーロ圏消費者物価指数(5月改定値)	米 経常収支(1-3月) 米 消費者物価指数(5月) 米 新規失業保険申請件数(前週分) 欧 ユーロ圏財務相会合(ルクセンブルク) 欧 ECB経済報告	欧 EU財務相理事会(ルクセンブルク)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.075 ~ 0.120
SPOT 2M	0.117 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

「ここからさらに実質実効為替レートが円安に振れることはありそうにない」と発言があった。これを受け、ドル円相場は124円台から一時122円半ばまで円高が進んだ。来週の材料は、国内では月例経済報告(15日)、貿易収支(17日)、日銀金融政策決定会合(18-19日)、海外では米FOMC(16-17日)などが挙げられる。

【オープン市場】

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.080 ~ 0.090
TDB 3M	△0.005 ~ 0.005
現先(on/1w)	0.070 ~ 0.100

＜インターバンク＞

今週の日銀当座預金残高は、週を通して210兆円台から213兆円台で推移した。9日スタート分の国庫短期証券オペ金額が5,000億円であったこともあり、1週間の日銀当座預金増加額は1兆2,700億円(210兆7,500億円→212兆200億円)となった。無担保コールON物は週を通して0.07～0.075%を中心に推移した。加重平均金利は概ね0.073～0.074%で推移したが、10日には一部市場参加者による試し取りで0.10%超の出合いが見られたこともあり、0.089%まで上昇した。ターム物は、1W物で0.117%の出合いが中心であった。10日午後の衆院財務金融委員会で黒田日銀総裁から

＜CP＞

今週の入札発行額は約5,500億円で、期落ち額約9,300億円(金融機関・ABCP除く)を下回った。カード会社などの大型案件が、期日で継続発行されなかったため、発行量は膨らまなかった。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.090%近辺～0.100%台後半と、ほぼ横這いで推移した。期内償還物は、0.090%台後半での出合いが中心であった。現先レートの中心は、0.070%～0.100%程度で推移した。来週の期落ち額は約6,100億円となっている。

＜TDB＞

11日に国庫短期証券3M第538回債の入札が行われたが、最高落札レートは0.0020%(前回債0.0020%)、平均落札レートは0.0012%(前回債0.0004%)と前回債から利回りにほとんど変化はなかった。セカンダリーは3Mで0.000%近辺の出合い。6Mは△0.022%近辺の地合い、1Yは目立った出合いは見られなかった。来週17日に1Y、18日に3Mの入札が行われる予定である。

＜レポ＞

足許GCは週初0.07%台の出合いから始まった。その後も0.06%台後半から0.07%台のレンジで推移し、TDB3Mの入札が行われた11日には0.08%台後半の出合いとなった。週末には短国買入オペが1兆円オファーされたこともあり、0.07%近辺の出合いとレート低下し越週した。また6/16-6/22受渡のクーポンGCは0.06%台から0.07%台での出合いとなった。SCは10年336、337、338回債が週を通してネガティブレートで推移した。また2年債は351・352回債、5年債は120・123回債、10年債は323・325・336・337・338回債に引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。